



関西圏教育機関（某大学）様

分野

教育機関

企業概要

学生/教員：1500名

既存対策：従来型ファイアウォール

課題

・最新の脅威に対応するために既存のFWでは不十分であり、次世代FWの導入を検討。また、新型コロナウイルスの影響により授業をオンライン化するため、簡単導入かつ簡易管理可能なアクセスポイントの採用も差し迫った課題であった。

導入モデル

- ・ NSa5650×2台
- ・ SonicWave×130台

NSa5650 + Capture ATPを出入口対策として導入。また、WiFiコントローラ機能も提供しており合計130台のAPを統合管理。

導入効果

Capture ATP（マルチサンドボックスエンジン）により最新の脅威に対応。さらにNSa5650管理コンソールから全てのAPが統合管理可能で情報システム担当者（1名）の運用負担/コストを大幅削減。

NextGenFWの導入でセキュリティ対策を強化し キャンパスにおける統合的なWiFi環境も実現！

1

マルチクラウドサンドボックスエンジンで最新の脅威

2

自動プロファイル配信によりアクセスポイント簡易デプロイ

3

単一のコンソールでUTMとアクセスポイントを一括管理

